The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	コンピューターネットワークに期待すること
Author(s)	高妻, 孝光
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1991, 82, p. 29-30
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65935
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

コンピューターネットワークに期待すること

大阪大学教養部化学教室
高妻孝光

近年、さまざまな場所や分野で規模の大きさにかかわらずコンピューターネットワークなる単語が聞かれるようになってきている。コンピューターネットワークに関する書籍も簡単なものから難しいものまで数多く刊行されていて、コンピューターネットワークに関する関心の高さをうかがわせる。手持ちのパソコン等をネットワークにつなぐ方法等については1）は大阪大学大型計算機センターニュースにくわしく説明されているのでそちらを参考にしていただきたい。ここではむしろ、汎用機やあるいはワークステーションをホストマシンとするネットワークの利用についてユーザーの立場からこういう具合にしてほしいというようなことを考えてみたい。

1.電子メールサービスの充実

電子メールは、ネットワークの中でも頻繁に使われている機能の一つであると考えられる。現在、大阪大学大型計算機センターやＮ１ネットワークを通しての学術情報センターのメールサービスを利用している。電子メールは、ペーパーメールよりも速く、安いというメリットを持っているため情報（多くても少なくても）の交換には非常に便利であると感じているが、大学や研究機関のメールサービスは必ずしも使いやすいシステムが多くないのが難点である。おなじような汎用機をホストとしている商用ネットワークの場合にはユーザー層がさまざまな人々におよぶためかメールサービスの利用方法が実に簡単になっている。また、配信通知等のメール付属の機能も充実している。そこで、これからのコンピューターネットワークの主軸をなすのは、やはり電子メールであると考えられるので、利用が簡単であり親切（コマンドがわかりやすくかついつでもそのコマンドの機能を参照できる）なものを望みたい。

2.電子掲示板、電子会議

ネットワークのもつ機能のうち電子メールと同様に良く利用されるのが電子掲示板あるいは電子会議であろう。電子掲示板はその名前の通り掲示板であって、さまざまな案内や情報を提供する場である。ここで提案したいことは、各部局の電子掲示板なるものを用意するというのはどうであろうか。例えば、Ａ教室の電子掲示板だったら、そこにどんな研究室があって、どのような研究が行われているかなどを紹介しておく。あるいは、セミナーや講演会などの案内をのせておく。というのも、よく、○○○ということをしている人を知りませんかとか、○○○という物を持っている人がいたら、そのことについて聞いてみたいので教えてほしいというような場面にまま直面するからである。大型計算機センターの中にこのような電子掲示板があれば結構役にたつと思われるがいかがなものであろうか。事務処理のシーンにおいても○○○ということに関する書類はどこにあってどのようにしたら手に入れられるという具合に使えると思うのだが・・・・

電子メールと電子掲示板の持つ特徴をあわせもったようなものに電子会議と称するものがある。つまり、議題の提案があってそれに関して「いつでも」議論を展開していけるというものである。この「いつでも」と言うところが実に重要な部分である。少々開放的なイメージがあるので、そのことに関して抵抗のある場合は、アクセスに制限を付けてしまえばクローズドでも使えると思える。

以上、思いつくまま、ネットワークの機能として整備してほしいことを述べてきた。前号のニュース2）でも大型計算機センターは単にＣＰＵパワーを提供するだけではなくなってきたとあるがまさに同感である。これからのネットワーク環境にはユーザのユーザによるユーザのための情報集積あるいは情報の

有効利用の場として提供されることを切に望みたい。

1）大阪大学大型計算機ニュース, 19, No. 4, 1990-2, 第76号
大阪大学大型計算機ニュース, 20, No. 2, 1990-8, 第78号
2）大阪大学大型計算機ニュース, 20, No. 4, 1991-2, 第80号